

定期テストの勉強法

「定期テストの勉強法」で、もっとも重要なのは日頃の家庭学習を充実させることです。とくに、理科・社会の重要語句、漢字や英単語の定着は、短期的な学習ではなかなかできません。テスト前にこれらに取り組みようとしても、時間がとられてしまい、その他の勉強に大きく影響してしまいます。テスト時期ではないときにこそ、暗記をくりかえし行い、テスト1～2週間前には提出物なりテストへの実戦応用力を高めることが理想です。しかし「理想」ばかり掲げても、実際のテスト勉強では何をしたらよいか分からない生徒さんが少なくないようです。ここでは、テスト前、主に2週間前ぐらいからの「テスト勉強のしかた」についてまとめてみます。ぜひ参考にしてみてください。

【目標とスケジュールを立てる】

①テスト対策のスケジュールを立てる

- ・テスト2週間前までに今回のテストの目標を、具体的に決めよう
(例) 英語は80点以上 苦手な数学は平均+10点 など
- ・目標を見据えてテストの前日から逆算して計画を立てよう
- ・無理な予定は立てず、余裕のある計画表を作ろう
(例) 毎日漢字を2ページずつ取り組む。書けなかったら10回練習
不規則動詞など英単語を1日5個ずつ、音読しながら覚える など
- ・1つの科目ばかり長時間勉強するのは避けよう
- ・ミスした問題には印をつけておき、あとで直しをする時間を取ろう

②苦手科目を優先的に復習する

- ・「日頃勉強しない」→「テスト直前ぎりぎりに勉強」→「テストの点数が悪い」
→「嫌いになる」→「さらに勉強しない」・・・この悪循環を断ち切ろう
- ・その他の科目も油断せず復習をしておこう

③学校からの課題は絶対に提出期限を守る

- ・提出物を出さない場合、成績に「1」がつけられても文句は言えません
- ・ただし、課題をただ「終わらせればよい」ではありません
→1ページずつ (なるべく短い範囲で) の答え合わせと見直し、
そしてテスト3日前を目途に解き直しをしてみよう

④絶対にノルマを達成するという強い意志を持つ

- ・途中で予定を変えて自分自身を甘やかさない



【勉強を進める上での注意点】

⑤「ノートまとめ」に時間を費やさない

- ・「ノートまとめ」をただで「勉強をした気分」にならないこと
→きれいなノートを作っただけでは成績は向上しません
- ・集中して覚える時間・問題を解く時間の多さが、成績アップの秘訣です

⑥「覚えよう」という気持ちと行動が大切

- ・ただ単に眺めていても暗記はできない。手を動かして必ず書こう
- ・1回で覚えようとせず、何度も繰り返そう
- ・繰り返しますが、間違えた問題には、必ず印を付けておこう
→その後、その問題を中心に書き直しを行おう

⑦わからない問題をそのままにしない

- ・まず解答・解説を読み自力で解決する
→そのあと自分一人で解けるか挑戦しよう
- ・それでも分からない時は学校や塾の先生に聞いて必ず解決しておく
→その後必ず自分で書き直そう

基本は以上です。テスト勉強に関わらず言えることですが、願わくば、「勉強する」→「わかるから楽しい」と思えるようにしたいですね。そこまでにするのは一苦勞かと思いますが、目標をしっかりと定め、テストで良い点数を取るイメージを持ち、粘り強く取り組んでみてください。自分自身に合った勉強法をしっかりと確立することは、中高生の大きな目標とも言えます。そしてその勉強法を身につけることは、一生ものの財産になり得ます。その上で、具体的に何をしたらよいかわからない方は、ぜひ教室スタッフに相談してくださいね。